

## 評価問題例

### 【評価問題 1】

作者は、この物語の最後に典子を登場させています。このことについて、あなたはどのように考えますか。自分の意見を書きなさい。

解答例はこちら

CLICK

### 【評価問題 2】

次の文章は、「ミサキ」の視点から描かれている。この続きを書き出しに続けて「アユナ」の視点から、想像して書きなさい。

「ふう。」ミサキは、ハンバーガーの形をした消しゴムを見ながら、6回目のため息をついた。

消しゴムはアユナのものだ。アユナとは小学校以来の親友だ。ところが、2日前にちょっとしたことでケンカした。昨日は一言も口をきかなかった。家に帰って宿題をしようとしたら、筆箱からハンバーガーの形をした消しゴムが出てきた。「ちょうどいい。この消しゴムをきっかけにして仲直りするか」と思ったのが、昨夜のベッドの中だった。

なのに、今日、アユナは学校を休んでいた。

「ふう。」ミサキは7回目のため息をついた。

「とりあえず、電話でもしてみるか。」ケータイを取り出してミサキはちょっとためらった。



その頃、アユナは、ケータイを手にしたまま考えていた。

## 評価問題のポイント

### 【評価問題 1】

批評文が、印象論や道徳論にならないように、作者の設定に対する意見を書かせている。本文の記述を根拠にしているか、論理的な説明になっているかを評価の規準にする。

### 【評価問題 2】

視点を変えると、同じ事柄でも異なって見えることを、創作を通して確認させる問題である。学習した優れた表現を取り入れ、生き生きとした作品に仕上げるように指示する。